

# JANOG42 若者支援 参加レポート

九州工業大学 永島 薫

2018年7月18日

## 1 JANOG Meeting に参加した全般的な感想

今回、JANOG に初めて参加させていただきました。JANOG 全体の感想としては、最新の動向を知ることができるというのが一番に挙げられます。普段は追うことができて、自身の研究の分野程度なのですが、とても広大な範囲の動向を知ることができました。次に挙げられるのは、学生、社会人問わず、たくさんの人と話げできました。その中で自分の知らないものを知る。スポンサーブースで企業の方と製品について話す。普段の生活にはないことをすることができました。

## 2 JANOG Meeting に参加して得たこと・今後やりたいこと

### 2.1 参加して得たこと

- 知らない技術の存在を知る
- 知らない会社を知る
- 今まで勉強してきた知識を使って現役のエンジニアと話すことで成長していることを認知する

### 2.2 今後やりたいこと

- 知ることができた技術に興味のあるものの勉強をする
- 知ることができた会社も就職先の選択肢の一つとする
- さらに自分の専門を深める

## 3 JANOG Meeting で印象に残ったプログラムとその感想

### 3.1 その運用自動化では行き詰まる ～「つながらない」「つたわらない」「つみあがらない」を防ぐために～

研究室でサーバ運用をしているので、自分たちの構築したサーバのログを後輩に残す、障害対応を後輩に残す。どこまでコードでの自動化を行って、どこまでを手動にするか、もう一度自分たちの行動を見つめ直さなければならないなと思ったプログラムでした。

### 3.2 つぶらな瞳で総務省 - 障害の情報提供制度について

昨年8月に起きたBGPの件の話は認知はしていましたが、総務省の裏側まで知ることができるとは思いませんでした。BGPのメッセージをフィルタリングするような事態にならなくてよかったです。また、これからお役所と通信事業者の間においてうまくクッションになる人材は必要になると思いました。

## 4 その他、各自で JANOG・自分に対して思った感想・目標など

はじめての JANOG でしたが、たくさんのことをきちんと吸収することができました。普段の運用の課題を改めて認識したり、新たな課題、やりたいことを見つけることができました。これからはそれらの課題に全力でぶつかっていきたいと思います。

また今回の学生支援に際しまして、関係者のみなさま、旅費をだしてくださるスポンサーの企業様、ありがとうございました。また機会があれば参加します。